



プリントコスト削減について

改善前OA機器の設備状況について

IPSiO NX○○○



IPSiO NX ○○○



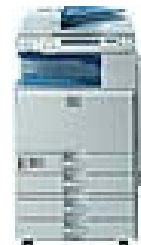
IPSiO NX ○○○



HLXXXX



MPCXXXX



NeoXXX



NeoXXX



月間使用枚数

BK 10,000枚

月間合計コスト

BK @2.25

¥22,500

スペック

BK 32PPM

月間使用枚数

BK 7,500枚

月間合計コスト

BK @3.00

¥22,500

スペック

BK 28PPM

月間使用枚数

BK 750枚

月間合計コスト

BK @3.76

¥2,870

月間使用枚数

BK 5,387枚

CLC 5,058枚

CLP 3,223枚

月間印字コスト

BK @4.24

CLC @20.75

CL P @18.10

BK ¥22,893

CLC ¥104,980

CL P ¥58,368

月間合計コスト

¥186,241

スペック

BL/CL 30PM

月間使用枚数

BK 37,104枚

月間合計コスト

BK @3.13

BK ¥116,135

スペック

BK 75PPM

月間使用枚数

BK 35,110枚

月間合計コスト

BK @3.13

BK ¥109,894

スペック

BK 60PPM

月額リース代金 : ¥104,139

月間経費 : 564,120円

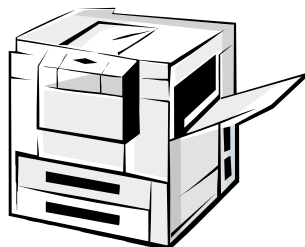
年間経費 : 6,769,434円

プリント出力の変更について

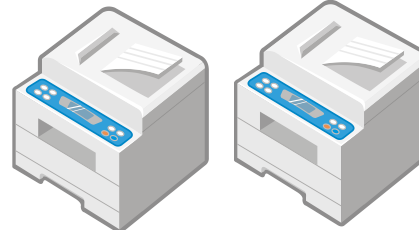
1. オバースペックにならない利用用途、利用枚数に適した機器の選択で機器コストの低減。
2. ランニングコストの安い機器を組み合わせることでトータルコストの低減。
3. 稼働率を検証し適切な配備で設置台数の低減。
4. ランニングコストの安い機器からのプリント出力を徹底する。



A3モノクロ複合機
速度: 50PPM
最大A3サイズ
コピー&プリンタ&スキャナ&FAX



A3カラーレーザー
速度 32PPM
最大A3サイズ



A4モノクロレーザー
速度 30PPM
最大A4サイズ

コストシミュレーション

現状

メーカー	機種	ブラック		カラーコピー		カラープリント		チャージ料金
		枚単価	C/V	枚単価	C/V	枚単価	C/V	
○コー	MPCXXXX	¥4.24	5,387	¥20.75	5058	¥18.10	3223	¥186,131
○コー	NeoXXX	¥3.13	37,104					¥116,136
○コー	NeoXXX	¥3.13	35,110					¥109,894
○コー	HLXXXX	¥3.76	750					¥2,820
○コー	NX○○○	¥3.00	7,500					¥22,500
○コー	NX○○○	¥2.25	5,000					¥11,250
○コー	NX○○○	¥2.25	5,000					¥11,250
月額リース代金 : ¥104,139							月間料金	¥564,120
							年間料金	¥6,769,434



変更後

機種	ブラック		モノカラー		フルカラー		チャージ料金	
	枚単価	C/V	枚単価	C/V	枚単価	C/V		
A4モノクロプリンター	¥	7,500					¥	
A4モノクロプリンター	¥	7,500					¥	
A3モノクロ複合機	¥	25,300					¥	
A3モノクロ複合機	¥	25,450					¥	
A3モノクロ複合機	¥	25,000					¥	
A3カラープリンター	¥	5,101			¥	8,281	¥	
							月間料金	¥262,029
							年間料金	¥3,144,343

54% OFF

▲3,625,091円



機種	本体価格	リース料率	リース金額
A4モノクロプリンター	¥	1.90%	¥1,436
A4モノクロプリンター	¥	1.90%	¥1,436
A3モノクロ複合機	¥	1.90%	¥19,000
A3モノクロ複合機	¥	1.90%	¥19,000
A3モノクロ複合機	¥	1.90%	¥19,000
A3カラープリンター	¥	1.90%	¥5,958
	¥3,464,800		¥65,831

現状のリース代金も含めた場合

年間経費: 4,394,011円

▲2,375,423円 35%低減

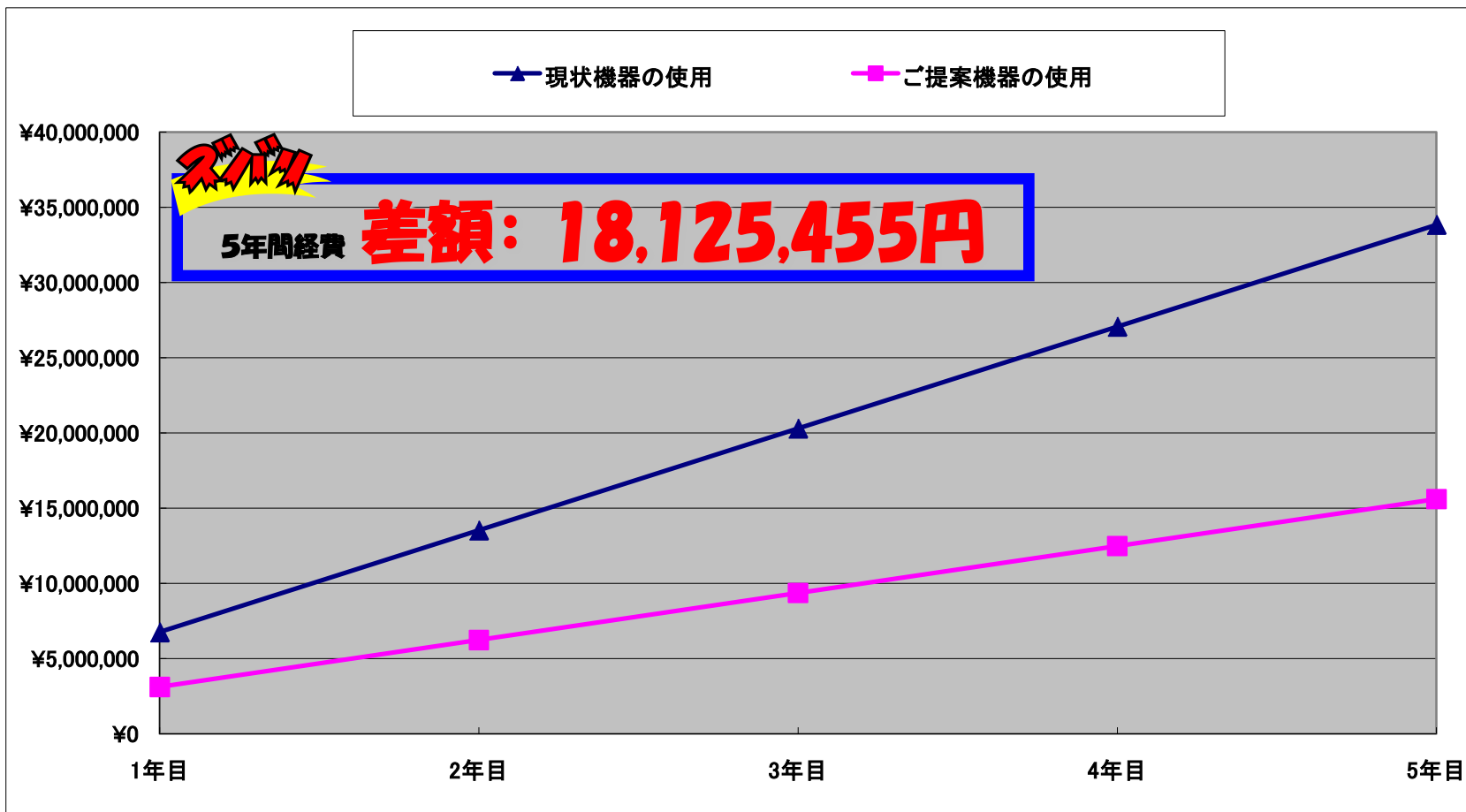


月間経費 : 262,029円

年間経費 : 3,144,343円

これ得だ値

損益分岐について



新たに設備を入替えても初年度から大幅な利益向上が望めます

月間の使用枚数に適切な機器の選択をすることでトータルコストの低減が出来ます。